

⚠ 本誌を必ず御施主様にお渡しください

自然が未来
EXISLAND
SNELLO

取扱説明書

※本書は商品の取り扱いについて説明したものです。
紛失されないよう、大切に保管してください。

スネーロ

●対象製品 EX-SN△△△○

Ver. 1 EXSNT

この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品を正しく御理解いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

⚠ 使用上のご注意

- 商品本体の上には、乗ったり、腰かけたりしないでください。また、むやみにゆすったりしないでください。
※転落したり、脱落により重大な人身事故が発生する恐れがあります。



お手入れ方法

- 当社商品は防錆処理(電気亜鉛鍍金・リン酸亜鉛被膜等)を施し、粉体焼付塗装をしております。
風雨に耐えて長期間使用できるようになっています。但し、鉄部材の溶接部分等でくぼんだところについては雨水が溜まりやすく、
時間とともに錆が出てくる事があります。
- 雨水やホコリ、煙のすす、ちり、鉄粉等が附着してそのまま放置しておくとな錆の原因になります。
- 汚れは柔らかい布や、スポンジ等で拭き取って下さい。
金属タワシや研磨剤入り洗剤でこすると表面が傷つき、
錆の発生、腐食の原因となります。
- お手入れは中性洗剤を使用して下さい。シンナー・ベンジン等の
石油系溶剤は絶対にご使用にならないでください。



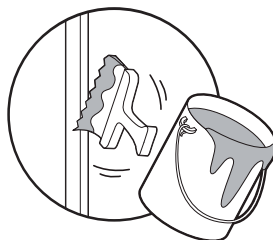
- ①錆びが発生した場合は、まずサンドペーパーでこすって
錆びをきれいに落とします。



- ②『プライマー』という錆止め剤を塗り、しばらく乾燥させます。
『プライマー』は鉄用の錆止め剤で、
ホームセンター等で販売されています。



- ③ホームセンターにある鉄用のペンキを刷毛で何回か上塗りして、
表面を保護してください。
※タッチアップ塗料をご準備しております。
必要に応じてタッチアップ塗料をお送り致します。(有料)



この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。未永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

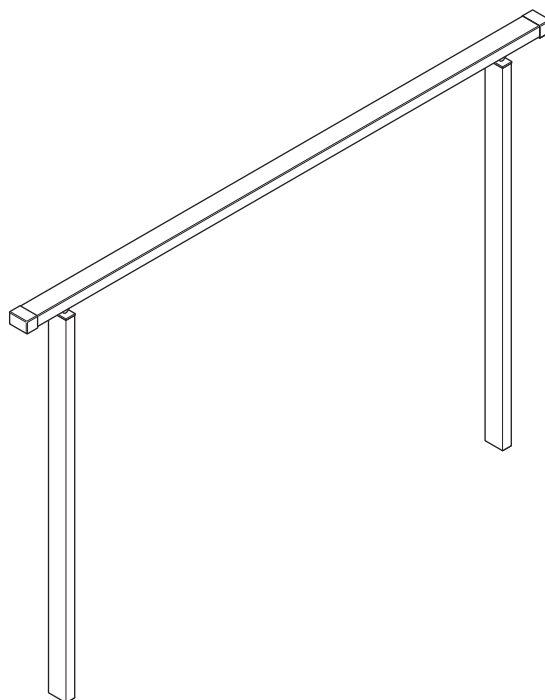
⚠️ 設置上のご注意

- 歩行補助手摺を目的にするものです。歩行補助手摺以外への転用及び改造は行わないでください。

⚠️ 施工上のご注意

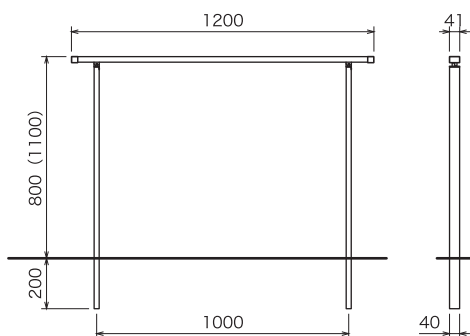
- 指定の部品及びオプション品以外は使用しないでください。
- 商品に傷をつけないようご注意ください。
- 商品の施工については必ず施工要領書に従って下さい。
- 製品の水平・垂直に注意して施工を行って下さい。
- 基礎は当社指示寸法以上にして下さい。
- コンクリートモルタルの養生期間は十分(4日以上)とり、養生期間中は重い物を乗せたり、振動させたりしないよう注意して下さい。
- アルミ部材の表面に付着したコンクリート、モルタル等の汚れは速やかに取り除いてください。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れた後に柱を立てますと、柱内部に水がたまり凍結破壊の原因となります。
- 施工後、ボルト及びねじ類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等が、無いか点検して下さい。
- 作業終了後の商品にキズ、ヘコミ等が無いか確認してください。

No.	同梱部品	数量		
		1スパン	2スパン	3スパン
1	笠木	1	1	1
2	支柱ユニット	2	3	4
3	端部キャップ	2	2	2
4	六角レンチ(呼び3)	1	1	1
5	六角レンチ(呼び2.5)	1	1	1
6	タッチアップ塗料缶	1	1	1

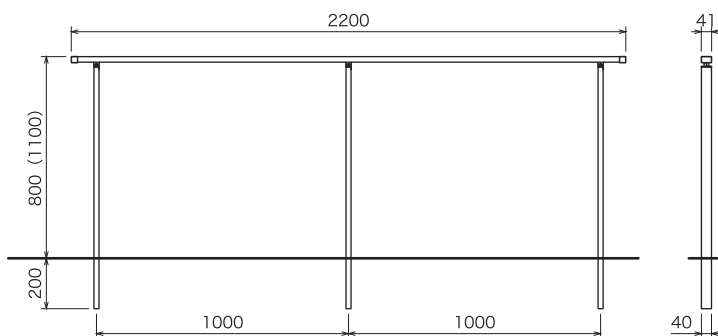


■寸法図

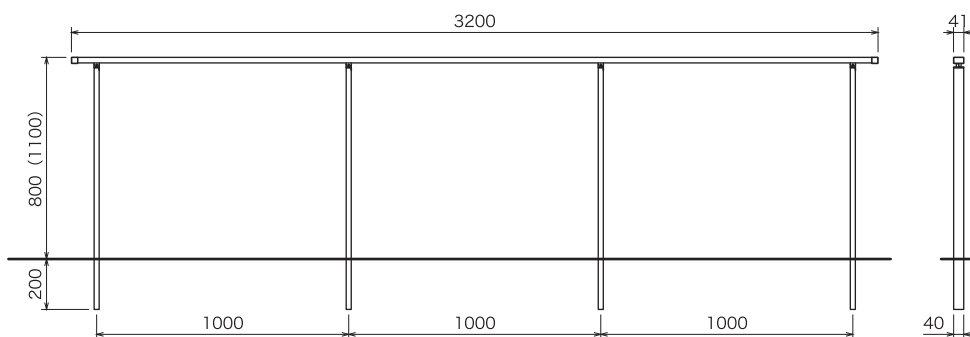
●1スパン



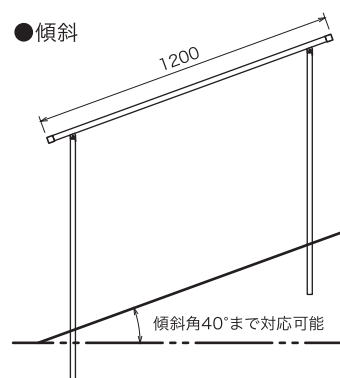
●2スパン



●3スパン

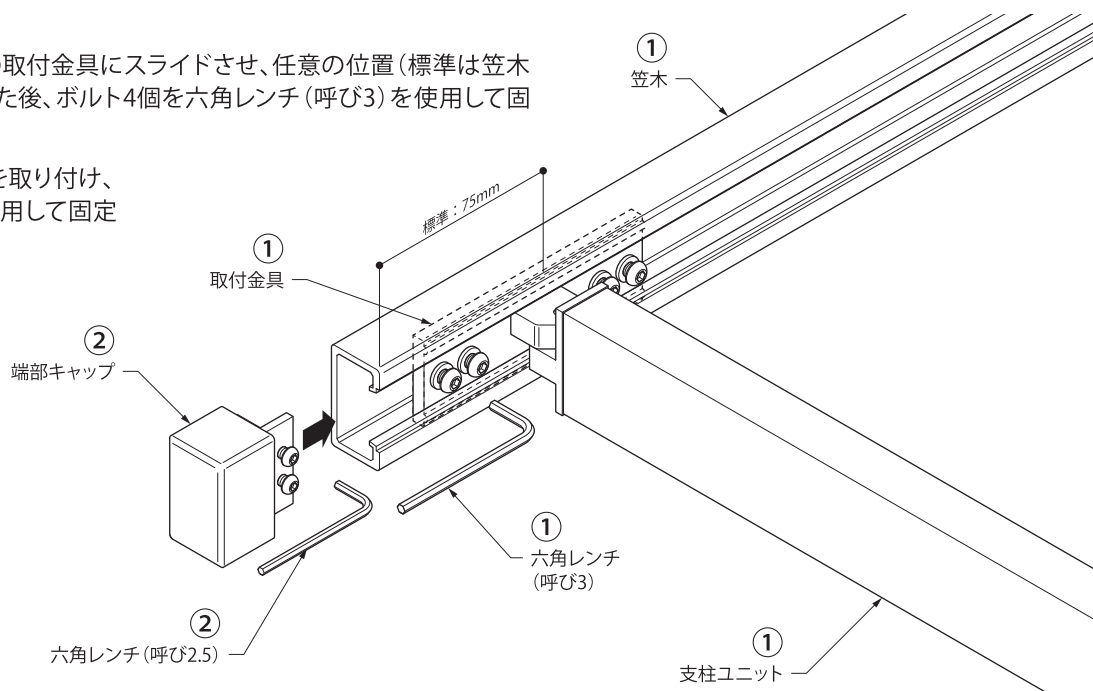


●傾斜



■施工手順-1

- ① 笠木を支柱ユニット上部の取付金具にスライドさせ、任意の位置（標準は笠木端部より75mm）に合わせた後、ボルト4個を六角レンチ（呼び3）を使用して固定してください。
- ② 笠木端部に端部キャップを取り付け、六角レンチ（呼び2.5）を使用して固定してください。



⚠️ ご注意

● ボタンボルトは電動工具などを使用せず、必ず付属の六角レンチを使用し手で締め込んでください。あまり強く締め込むと笠木上面が変形する恐れがあります。

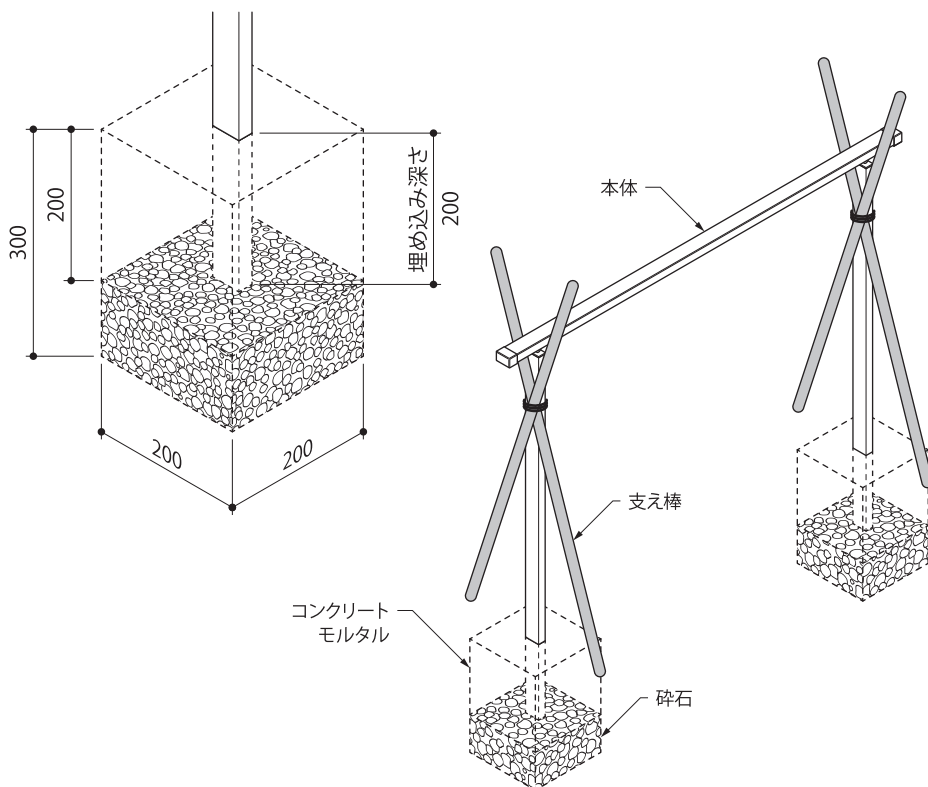
■施工手順-2

基礎固定の場合

- ①基礎穴を掘り、水たまり防止のための砕石を敷いてください。
- ②本体をコンクリート・モルタルで固定してください。

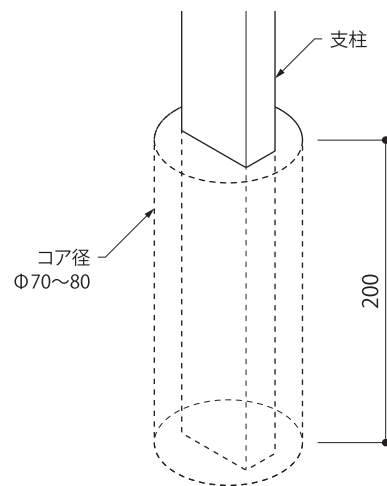
⚠️ ご注意

●本体を傷つけないよう養生した後、支え棒で自立させ、垂直・水平を確認してからコンクリートで打ってください。



コア抜きの場合

- ①支柱埋め込み深さを200mmとし支柱を固定してください。(コア径Φ70~80)
- ※本体の水平、垂直を確認するまで、固定しないでください。



■施工手順-3

- ①最後に六角レンチ(呼び2.5)を使い、可動部の六角穴付極低頭小ねじを締め込んでください。

